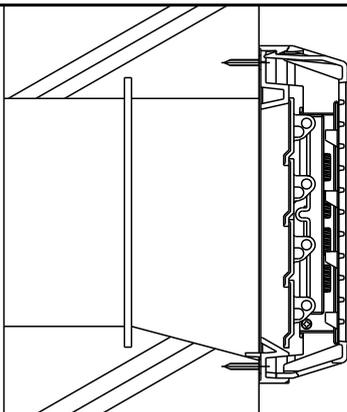


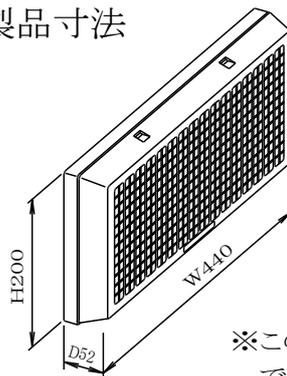
■コンクリートビス施工用

自動開閉式 床下換気口 オート床下カンキRF(ステンレス織網付) 施工要領書

◆施工例



◆製品寸法



W440×H200×D52

■取付開口寸法

W=210~400mm

H=150~170mm

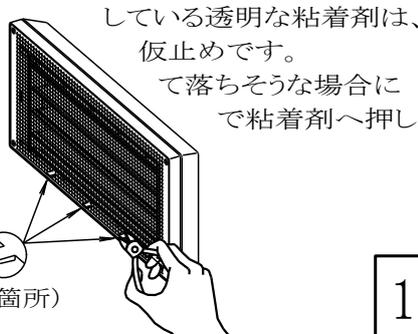
※この換気装置は気温の変化で自動開閉します。

《施工手順》

製品を施工・取付け前に開口部にあて、基礎面に対して平らに納まることを確認してください。

背面下側にある位置決め用のツメが基礎に干渉する場合は、ニッパーで切り落としてください。

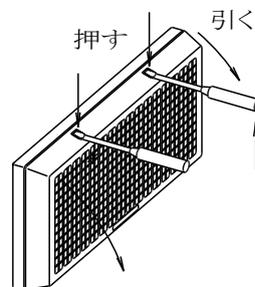
防虫網を固定設置するまでの防虫網が外れは、防虫網を指付けてください。



ツメ(3箇所)

1

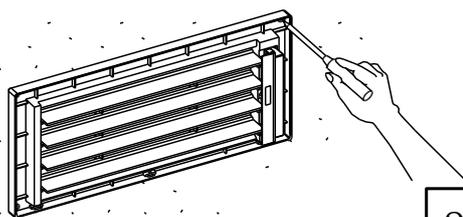
下図のように、上部の角穴(2箇所)にマイナスドライバーを差し込み、軽く下に押しながらか手前へ引いて前面パネルを取り外します。



2

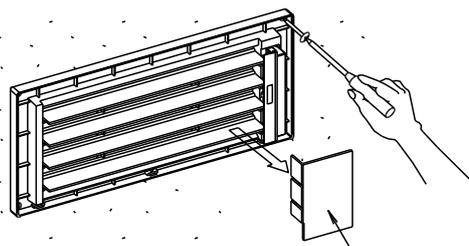
設置する基礎の開口部へケーシング(羽根の付いた部品)を押し当て、取り付け用コンクリートビスの下穴を開ける位置(四ヶ所)に印を付けます。

ケーシングの角にある穴から、ドリルビットや先の尖った金属製の千枚通し、サインペンなどを差し込んで印を付けます。



3

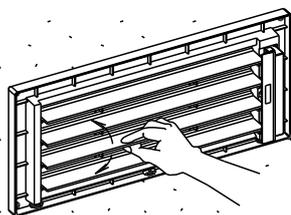
コンクリートドリル(φ3.4~φ3.5mm)で下穴を開けたら、付属のコンクリートビス(4本)でケーシングを設置し、ルーバー保護シートを取り外してください。



ルーバー保護シート

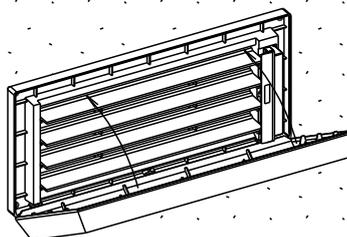
4

羽根がスムーズに動くことを確認してください。引っ掛かりが感じられる場合は、異物が噛んでいる可能性がありますので、原因を確かめて、異物を取り除いてください。



5

前面パネル下側にある突起(3箇所)をケーシング下側の角穴へ差し込み、パチンと音がするまで前面パネルの上側にあるスナップ部(2箇所)を押し込めば、設置完了です。



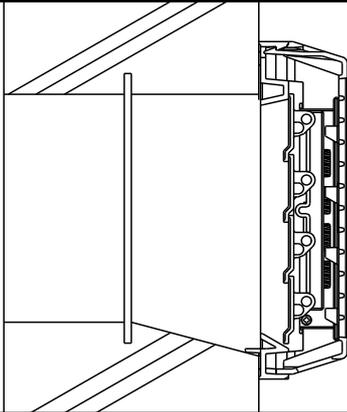
6

※改良のため予告なく変更する場合があります。

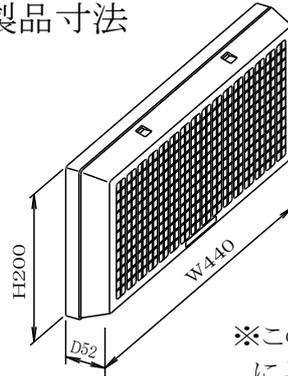
■変成シリコーン施工用

自動開閉式 床下換気口 オート床下カンキRF(ステンレス織網付) 施工要領書

◆施工例



◆製品寸法



W440×H200×D52

■取付開口寸法

W=210~400mm

H=150~170mm

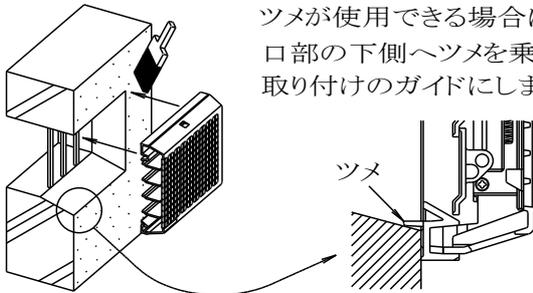
※この換気装置は気温の変化により自動開閉します。

《施工手順》

設置する開口外周部分の汚れを刷毛等で取り除くように清掃します。雨水などで濡れている場合は、乾いた布で水滴を取り除いてください。

黒い粘着テープの離型紙(2箇所)を剥がし、水平を出しながら製品を基礎面に押しつけてください。

ツメが使用できる場合は、開口部の下側へツメを乗せて取り付けのガイドにします。



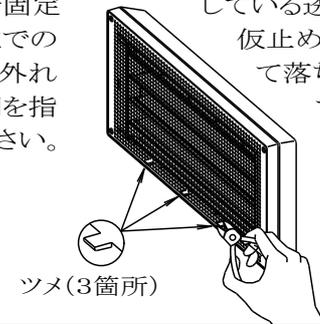
1

製品を施工・取付け前に開口部にあて、基礎面に対して平らに納まることを確認してください。

背面下側にある位置決め用のツメが基礎面に干渉する場合は、ニッパーで切り落としてください。

防虫網を固定設置するまでの防虫網が外れは、防虫網を指付けてください。

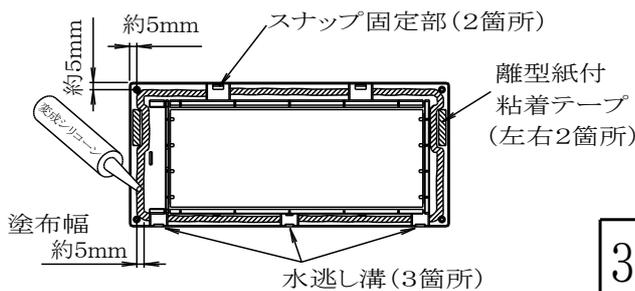
している透明な粘着剤は、仮止めです。で落ちそうな場合に粘着剤へ押し



ツメ(3箇所)

2

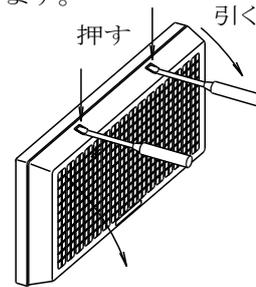
下図のように、外周の端より5mm程度内側に変成シリコーン[1成分形変成シリコーン系接着剤(現地調達)]を塗布します。この時接着剤が、切欠き穴部の内側(5箇所)に付かないよう注意してください。



3

接着後1時間程度経過してから、前面パネルを取り外して、羽根が正しく動くことを確認します。

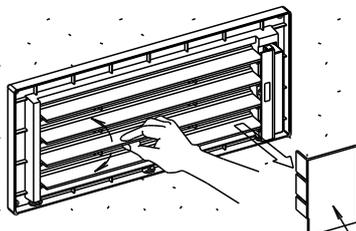
上部の角穴(2箇所)にマイナスドライバーを差し込み、軽く下に押しながら前面パネルを手前へ引くと簡単に外せます。



4

ルーバー保護シートを取り外し、羽根がスムーズに動くことを確認してください。

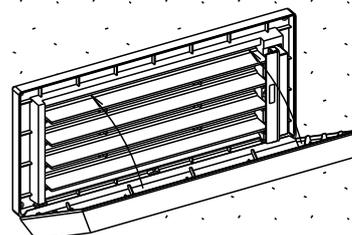
引っ掛かりが感じられたり動かない場合は、接着剤がはみ出していたり、異物が噛んでいる可能性がありますので、原因を確かめて、異物を取り除いてください。



ルーバー保護シート

5

前面パネル下側にある突起(3箇所)をケーシング下側の角穴へ差し込み、パチンと音がするまで前面パネルの上側にあるスナップ部(2箇所)を押し込めば、設置完了です。



6